

経営比較分析表（令和元年度決算）

宮城県 塩竈市

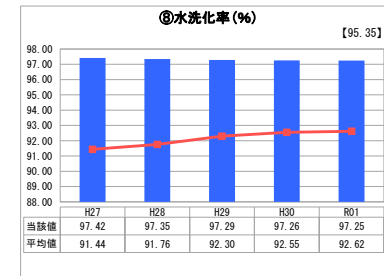
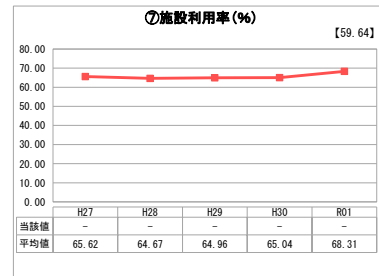
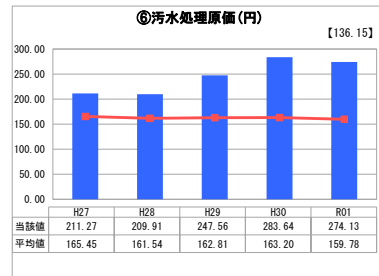
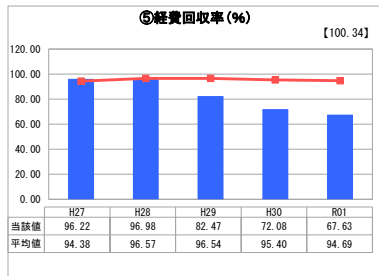
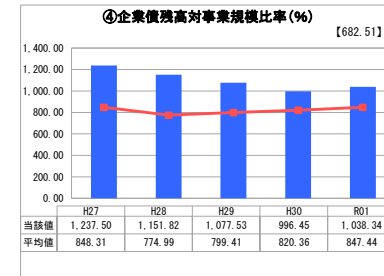
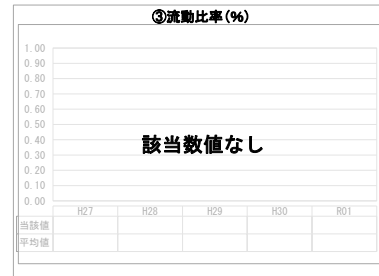
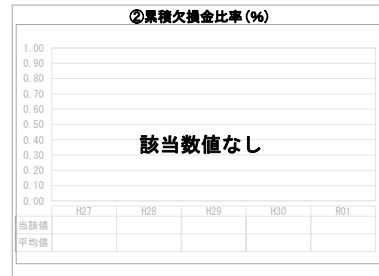
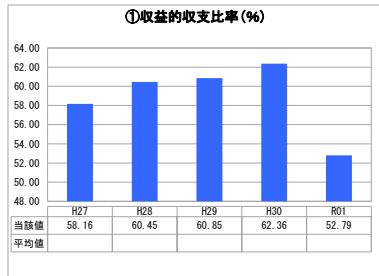
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	99.33	79.37	3,905

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
53,975	17.37	3,107.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
53,434	11.61	4,602.41

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率はここ数年、企業債元利償還金が年々減少していたことから改善傾向にありました。しかし令和元年度は、公営企業会計移行による打ち切り決算の影響で下水道使用料が1ヶ月分減少したことにより指標が一時的に悪化しています。

④企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して高い数値となっています。これは、本市の地理的要因である埋立地等により下水道施設の整備費用が割高になっていることが主な原因です。下水道事業における企業債残高は年々減少しており、指標も改善傾向にありましたが①と同様、打ち切り決算の影響で指標が一時的に悪化しています。

⑤経費回収率は打ち切り決算の影響で下水道使用料が減少し前年度比4.45%の減となりました。類似団体と比しても経費回収率が低いため、下水道使用料の確保、経費節減などの改善を図っていきます。

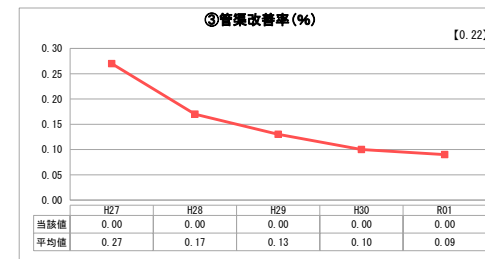
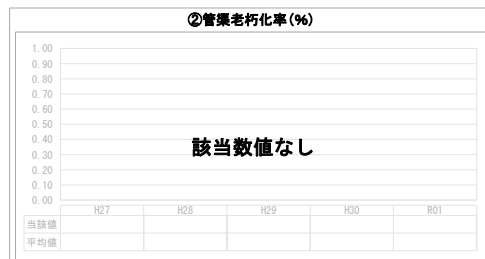
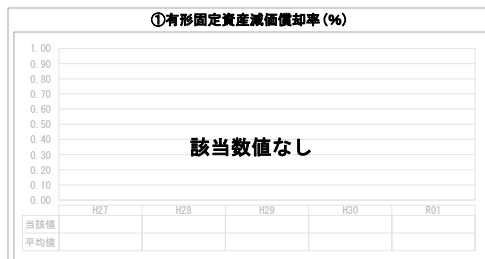
⑥汚水処理原価は前年度と比較して企業債元利償還金の減少により、95.1円の減となりましたが、類似団体と比較すると高い数値を推移しているため、より一層経費節減などの経営改善に努めます。

⑧水洗化率は、類似団体と比較しても、高い数値となっています。今後も引き続き水洗化の普及に努めます。

2. 老朽化の状況について

整備開始50年度を経過し、管渠の老朽化が進行しており、計画的な改築、更新を図る時期を迎えています。人口が減少していく中で、安定した経営を行う必要があることから、現在ストックマネジメント計画を策定しており令和3年度完成予定です。今後はストックマネジメント計画に基づく効率的かつ効果的な施設更新を実施していきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

公共下水道事業の経営は、類似団体と比較して地理的要因により建設費が高くなっているため、企業債残高が高くなっています。普及のための新規整備事業はほぼ終息を迎えている一方で、既存施設の老朽化が進んでおり、今後は更新に関する費用が増していく見込みです。また、人口減少が進む中で使用料収入の落ち込みが見込まれており、今後は安定した経営のため、現在策定中のストックマネジメント計画に基づく効率的な改修・更新や維持管理費用の節減、使用料収入の確保などに取り組んでいく必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。